

花 人 心

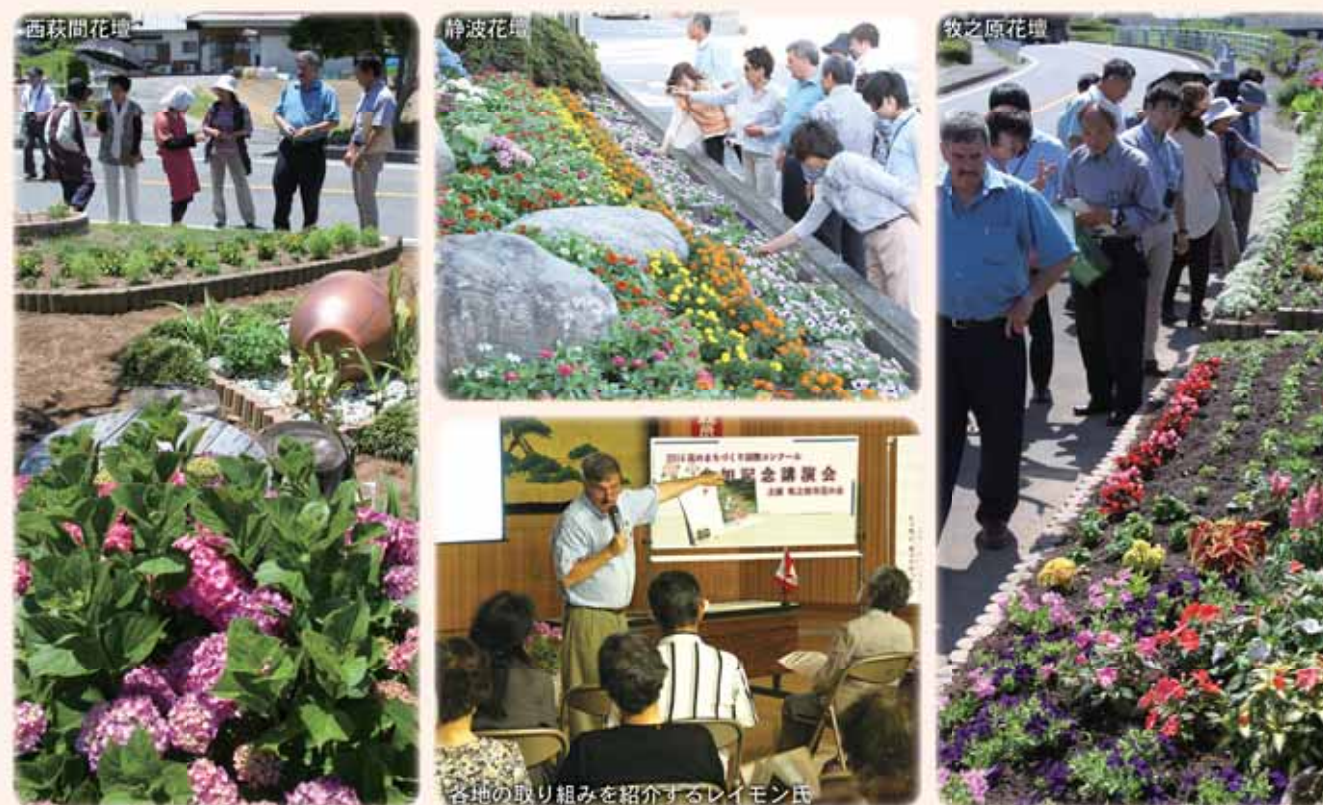
花の会は21団体300人、38箇所の花壇で活動しています。丹精した花壇に思い描いた美しい花々が咲き誇る時の達成感や感動、仲間との一体感が味わいたくて集まっています。

取り組みは、全国でも高く評価されるようになり、ついには世界に誇るまで成長しました。しかし、活動は市内全体に広がっていないこと、若い人たちの参加が思うように進んでいないことなど、いくつかの課題もあります。

地域をきれいな花などで彩る緑化の取り組みは、快適で豊かな生活環境を創り、人の心を和ませ明るい地域づくりや青少年の健全育成にも貢献するなど、大きな力を持っています。

また、花を通して人と人とのつながりが深まり、たくさんの新たな絆も生まれています。

あなたも、花の会の活動に加わってください。そして、一緒に愛される花壇や住み続けたい地域を実現しましょう。



花の会が「世界」へ挑戦

花の会が、日本を代表して、世界大会「2014花のまちづくり国際コンクール」に挑戦します。6月12日にはカナダから審査員が来日し、現地審査が行われました。国際コンクールは、9月20日にカナダのシャーロットタウンで開かれ審査発表と表彰式が行われます。

問い合わせ 環境課 大石 ☎532609

花の会の挑戦

花の会は、昨年度、全国花のまちづくりコンクールで最高賞の「国土交通大臣賞」を受賞しました。受賞により、「花のまちづくり国際コンクール」に日本代表として挑戦します。国際コンクールは、毎年一回、花のまちづくりを発展させることを目的にカナダで開催されています。環境への配慮や地域のボランティア活動、花壇のアレンジなどが審査され「5つ星」でランク付けされます。結果は、インターネットやパンフレットなどで発表され、観光資料として利用されます。

地域ごとの独自性を絶賛

来日した審査員のレイモン・キャリエール氏は、女神花壇や西萩間花壇、牧之原花壇などを視察審査しました。翌日の記念講演会でレイモン氏は、「他の地域と違い、小さなコミュニティごとに目標と独自性を持っている。住民が自ら取り組み、企業や行政などが支援する環境が整っている」と花の会の取り組みを絶賛しました。

花の会表彰受賞歴



- ▼平成22年度 第20回全国花のまちづくりコンクール「優秀賞」
- ▼平成24年度 第23回みどりの愛護功労者「国土交通大臣表彰」市「ボランティア功労者表彰」
- ▼平成25年度 第23回全国花のまちづくりコンクール大賞「国土交通大臣賞」(左写真:市長に報告)

インタビュー

美しい花壇と景観を目指し

コンクールによって、多くの人に活動を知っていただけ良かったです。審査では、景観の大切を知ることができたので、植栽だけでなく、ごみや草の除去などを行い美しい花壇と景観を皆さんと一緒につくってまいります。



市花の会副会長
太田 芳也さん